



東京税関管内貿易概況（令和7年分） 確々報

令和7年分の管内貿易概況(確々報)について、輸出は、対前年比が9.1%増となり、年としては過去最大となった。輸入も、同6.1%増となり、年としては過去最大となった。

その結果、差引額は、11兆9,771億円の輸入超過となった(25年連続)。

東京港
輸出は2年ぶりに減少、輸入は過去最大
輸入超過は25年連続
輸出は、半導体等製造装置、自動車の部分品及び電算機類の部分品等が減少
輸入は、通信機、電算機類及びはき物等が増加

成田空港
輸出入ともに過去最大
輸入超過は15年連続
輸出は、医薬品、電気計測機器及び写真用・映画用材料等が増加
輸入は、医薬品、電算機類及び通信機等が増加

羽田空港
輸出は5年ぶりに減少、輸入は3年ぶりに減少
輸入超過は16年連続
輸出は、医薬品、科学光学機器及びIC等が減少
輸入は、航空機類、バッグ類及び科学光学機器等が減少

(単位：億円)

	輸出額			輸入額			差引額
	価額	伸率	全国比	価額	伸率	全国比	価額
管内	288,625	9.1%	26.1%	408,395	6.1%	36.0%	▲119,771
東京港	80,936	▲0.9%	7.3%	172,415	4.7%	15.2%	▲91,479
成田空港	200,970	14.8%	18.2%	212,199	9.3%	18.7%	▲11,229
羽田空港	4,510	▲17.5%	0.4%	13,186	▲7.8%	1.2%	▲8,677
全国	1,104,005	3.1%	100.0%	1,133,301	0.5%	100.0%	▲29,296

為替レート：税関長公示レートの平均値
令和7年分

米ドル換算

149.69円/米ドル

令和6年：150.97円/米ドルと比べ0.8%の円高

注1. 本発表における港別の貿易額は、東京税関管内の次の官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額によるものである。

東京港（東京税関本関、東京外郵出張所、立川出張所、前橋出張所、大井出張所）、

成田空港（東京航空貨物出張所、成田航空貨物出張所）、

羽田空港（羽田税関支署）、

管内には、東京港、成田空港、羽田空港に加えて、新潟港（新潟税関支署、東港出張所）、直江津港（直江津出張所）、

柏崎港（柏崎出張所）、新潟空港（新潟空港出張所）、酒田港（酒田税関支署、山形出張所）を含む。

注2. 「伸率」は対前年伸率を示す。

注3. 「過去最大」は昭和54（1979）年以降による。

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関の資料による旨を注記して下さい。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関調査部調査統計課まで。(TEL 050-5533-6995)
3. 東京税関ホームページ <https://www.customs.go.jp/tokyo/>

●東京税関管内 令和7年確々報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	半導体等製造装置	17,969	-7.4	6.2
主要品目2	科学光学機器	12,043	1.8	4.2
主要品目3	電気計測機器	8,202	7.4	2.8

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増加1位	非鉄金属	6,989	12.3	2.4	シンガポール
増加2位	写真用・映画用材料	4,168	19.4	1.4	中国
増加3位	医薬品	7,150	9.6	2.5	スイス
減少1位	半導体等製造装置	17,969	-7.4	6.2	中国

【主要国・地域別】	輸出額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	47,455	2年ぶりに減少	-2.1	自動車の部分品
対E U(注3)	26,244	5年連続の増加	2.2	映像記録・再生機器
対アジア	182,396	2年連続の増加	11.0	
対中国(注4)	88,999	2年連続の増加	8.9	写真用・映画用材料
対ASEAN(注5)	41,510	2年連続の増加	10.9	非鉄金属

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	通信機	37,402	14.8	9.2
主要品目2	医薬品	36,075	11.0	8.8
主要品目3	電算機類	32,007	17.2	7.8

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増加1位	通信機	37,402	14.8	9.2	中国
増加2位	電算機類	32,007	17.2	7.8	中国
増加3位	医薬品	36,075	11.0	8.8	アイルランド
減少1位	航空機類	4,359	-24.3	1.1	米国

【主要国・地域別】	輸入額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	58,577	2年ぶりに減少	-1.6	航空機類	-11,122
対E U(注3)	68,398	5年連続の増加	5.1	医薬品	-42,154
対アジア	226,514	2年連続の増加	7.6		-44,118
対中国(注4)	122,024	2年連続の増加	6.8	通信機	-33,025
対ASEAN(注5)	60,914	2年連続の増加	6.6	半導体等製造装置	-19,404

●東京港 令和7年確々報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	プラスチック	3,725	3.3	4.6
主要品目2	自動車の部分品	3,517	-18.4	4.3
主要品目3	電算機類の部分品	3,440	-10.0	4.2

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
減少1位	半導体等製造装置	1,798	-40.6	2.2	中国
減少2位	自動車の部分品	3,517	-18.4	4.3	米国
減少3位	電算機類の部分品	3,440	-10.0	4.2	中国
増加1位	非鉄金属	1,607	25.9	2.0	カナダ

【主要国・地域別】	輸出額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	19,937	5年ぶりに減少	-11.3	自動車の部分品
対E U(注3)	9,460	5年連続の増加	0.6	個別半導体
対アジア	41,693	2年連続の増加	1.4	
対中国(注4)	18,120	2年ぶりに減少	-1.3	半導体等製造装置
対ASEAN(注5)	13,023	2年連続の増加	3.0	自動車

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	電算機類	12,656	25.3	7.3
主要品目2	衣類・同附属品	12,421	3.0	7.2
主要品目3	通信機	7,014	73.4	4.1

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増加1位	通信機	7,014	73.4	4.1	中国
増加2位	電算機類	12,656	25.3	7.3	中国
増加3位	はき物	4,647	16.5	2.7	ベトナム
減少1位	肉類・同調製品	6,653	-4.6	3.9	米国

【主要国・地域別】	輸入額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	15,340	5年ぶりに減少	-6.3	肉類・同調製品	4,597
対E U(注3)	19,394	5年連続の増加	1.6	原動機	-9,934
対アジア	122,514	2年連続の増加	7.2		-80,821
対中国(注4)	72,390	5年連続の増加	8.3	通信機	-54,270
対ASEAN(注5)	32,379	5年連続の増加	5.9	はき物	-19,356

●成田空港 令和7年確々報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	半導体等製造装置	16,119	-1.3	8.0
主要品目2	科学光学機器	9,868	6.3	4.9
主要品目3	IC	7,140	-4.5	3.6

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増加1位	医薬品	6,030	30.9	3.0	スイス
増加2位	電気計測機器	5,888	14.7	2.9	台湾
増加3位	写真用・映画用材料	3,882	21.4	1.9	中国
減少1位	有機化合物	1,672	-21.9	0.8	ドイツ

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	26,225	2年連続の増加	6.8	医薬品
対E U(注3)	16,221	2年連続の増加	4.0	映像記録・再生機器
対アジア	136,206	2年連続の増加	15.1	
対中国(注4)	68,863	6年連続の増加	12.8	科学光学機器
対ASEAN(注5)	27,061	2年連続の増加	16.0	非鉄金属

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	医薬品	31,321	9.1	14.8
主要品目2	通信機	29,795	6.6	14.0
主要品目3	IC	19,182	1.6	9.0

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
増加1位	医薬品	31,321	9.1	14.8	アイルランド
増加2位	電算機類	18,709	12.9	8.8	メキシコ
増加3位	通信機	29,795	6.6	14.0	中国
減少1位	時計・同部分品	4,249	-5.7	2.0	ドイツ

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	39,655	2年連続の増加	2.4	半導体等製造装置	-13,430
対E U(注3)	42,511	3年ぶりに増加	10.2	医薬品	-26,290
対アジア	96,316	3年ぶりに増加	8.4		39,891
対中国(注4)	45,926	2年連続の増加	4.7	通信機	22,937
対ASEAN(注5)	25,492	2年連続の増加	8.1	半導体等製造装置	1,570

●羽田空港 令和7年確々報

【主要輸出品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	再輸出品	3,241	0.8	71.9
主要品目2	医薬品	336	-69.4	7.4
主要品目3	科学光学機器	113	-61.8	2.5

【主要増減品目】		輸出額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
減少1位	医薬品	336	-69.4	7.4	スイス
減少2位	科学光学機器	113	-61.8	2.5	中国
減少3位	IC	71	-25.7	1.6	中国
増加1位	再輸出品	3,241	0.8	71.9	米国

【主要国・地域別】	輸 出 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目
対米国	1,103	7年ぶりに減少	-16.7	医薬品
対E U(注3)	467	2年ぶりに減少	-11.3	科学光学機器
対アジア	2,675	4年ぶりに減少	-10.2	
対中国(注4)	1,578	5年ぶりに減少	-15.5	再輸出品
対ASEAN(注5)	822	4年連続の増加	1.4	再輸出品

【主要輸入品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)
主要品目1	航空機類	2,251	-42.5	17.1
主要品目2	医薬品	1,906	55.9	14.5
主要品目3	バッグ類	1,511	-22.3	11.5

【主要増減品目】		輸入額(億円)	対前年伸率(%)	シェア(%)	主な増減国
減少1位	航空機類	2,251	-42.5	17.1	米国
減少2位	バッグ類	1,511	-22.3	11.5	フランス
減少3位	科学光学機器	887	-15.6	6.7	タイ
増加1位	医薬品	1,906	55.9	14.5	米国

【主要国・地域別】	輸 入 額(億円)		対前年伸率(%)	増減品目	輸出入差引額(億円)
対米国	2,490	3年ぶりに減少	-19.2	航空機類	-1,388
対E U(注3)	6,379	3年ぶりに減少	-11.7	航空機類	-5,912
対アジア	2,232	4年連続の増加	1.4		443
対中国(注4)	945	3年連続の増加	17.3	衣類・同附属品	633
対ASEAN(注5)	1,077	4年ぶりに減少	-14.4	科学光学機器	-255

(注) 1 輸出はFOB価格、輸入はCIF価格による。
 2 伸率及び増加・減少は全て対前年比による。
 3 対EUの貿易額は27カ国の実績。
 4 対中国の貿易額には対香港及び対マカオの貿易額を含む。
 5 対ASEANの貿易額は1月から10月は10カ国、11月から12月は11カ国の実績。
 6 本発表における港別の貿易額は、東京税関管内の次の官署が管轄する区域に設置された貨物の通関額によるものである。
 東京港(東京税関本関、東京外郵出張所、立川出張所、前橋出張所、大井出張所)、
 成田空港(東京航空貨物出張所、成田航空貨物出張所)、
 羽田空港(羽田税関支署)、
 管内には、東京港、成田空港、羽田空港に加えて、新潟港(新潟税関支署、東港出張所)、直江津港(直江津出張所)、柏崎港(柏崎出張所)、新潟空港(新潟空港出張所)、酒田港(酒田税関支署、山形出張所)を含む。